



御菌中だより

清流

令和6年3月21日
令和5年度 伊勢市立御菌中学校
第20号 伊勢市磯町2225

文責 校長 西川泰正

教育目標「心豊かで たくましく 今日を生きぬく 御菌中生徒の育成」 Tel. 36-5139 Fax. 36-4701

令和5年度 修了式

本日、修了式を行いました。1年生、2年生ともに4月の頃から見れば、身体的な成長はもちろんです。行動の面で特に大きく成長したように思います。中学生は、もうほぼ大人ですからそれなりに考え行動することが当たり前のことです。しかし、最初の頃は「指示されないと動けない」とか「言われても行動に移せない」人が多くいたように思います。今は、たとえば掃除の様子を見ていても、必要と思われる所を自ら探し、きれいにする様子があちらこちらで見られるようになりました。言われてから動くより、自ら動いた方が気持ちもいいですし、生徒だからこそ見つけられるきれいにすべき場所もあるでしょう。そうやって動いていくうちに信頼を得て仕事を任せても大丈夫だと思われるようになっていくのだと思います。

さて、今の1、2年生は、4月になれば新入生を迎え、それぞれ2年生や3年生となります。御菌中学校を引っ張っていくリーダーであるとともに、良い手本となる中学生であってほしいと思います。今年度の成長の様子を見てみると、今後の活躍がとても楽しみになっています。期待しています。

卒業式を行いました

3月7日(木)に第77回御菌中学校卒業式を行い、50名の3年生が卒業しました。今年度は、全校生徒が入り、鈴木健一市長や北村勝議員をはじめとした来賓もお迎えしての式でした。コロナ前の形での式は、久しぶりでしたが、特に全校での合唱はすばらしく、生徒たちの練習の成果が発揮されていました。卒業生の今後の活躍を祈っています。



県立高校後期選抜が行われました

3月11日(月)に県立高校の後期選抜の入試があり、本校からは24名が受検しました。合格発表が18日(月)に行われ、後期選抜では受検者全員の合格が決まりました。伊勢高校6名、前期の内定者を合わせて明野高校、伊勢工業高校、宇治山田高校がそれぞれ5名合格するなど、3年生全員の進路が決定しました。おめでとうございます。

ウェルビーイングについて

7日の卒業式の式辞で話した「ウェルビーイング」について、少し補足をしたいと思います。短い式辞の中で話したため、わかりにくいところがあったことと思います。

「ウェルビーイング」とは、「幸福」と訳されることもありますが、直訳すると「よい状態」のことです。「こころ」と「からだ」、「社会的なつながり」がともによい状態のことを指します。慶応大学の前野隆司教授によれば、この「ウェルビーイング」を叶えるためには、4つの因子があるそうです。1つ目は「やってみよう」因子（自己実現と成長の因子）。小さなことでも主体的に実現させることで幸福が得られます。たとえば、「〇時までにはワークを2ページやり遂げるぞ！」と決めて、時間内にできた時に「よし、やったぞ！」って気持ちになるといったようなことです。（誰かに言われて、いやいややるとこの気持ちは得られません。）2つ目は、「ありがとう」因子（つながりと感謝の因子）。人に親切にしたり感謝したりすることでよい人間関係を築き、人とのつながりを感じることで幸せを実感できます。たとえば、人のために何かをして、「ありがとう」とか「あなたのおかげです」なんて言われたらうれしい気持ちになりますね。3つ目は「何とかなる」因子（前向きと楽観の因子）。いつも前向きで、長所も短所も受け入れる「自己受容」ができて人は、幸せになりやすいそうです。そして「どんなことがあっても何とかなるだろう」と楽観的に考えることによって失敗を恐れずチャレンジできます。4つ目は、「ありのままに」因子（独立と自分らしさの因子）。人と自分を比べすぎず、自分軸をもって生きる人は幸せです。ネットとかの世界では、すごい人がたくさん取り上げられていますから、比べていけば幸せは失われていきます。自分らしく生きることが大切です。

とにかく中学生は、これから人生を歩んでいく人たちです。この「ウェルビーイング」を意識して幸せになってもらいたいと思います。



表彰をしました

女子バスケットボール部

第13回鳥羽志摩バスケットボール協会長杯

第3位

ありがとうございました

今年度の学校だよりの発行も、本号で最後となります。保護者の皆様には、御蔭中学校の教育活動へのご理解、ご協力に深く感謝いたします。また、次年度以降の活動にも引き続き、ご理解、ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。